

「令和5年度 取組状況」及び「令和6年度 教育課程編成と改善策」について

本年度も残すところわずかとなりました。子どもたちは、学習や行事に積極的に取り組むとともに、この一年間の自分自身の成長を振り返っています。令和5年度、本校の教育活動へのご理解・ご協力に深く感謝申し上げます。

「学校教育活動に関するアンケート」にご回答をお寄せいただきありがとうございます。皆様方の本校への期待と応援の表れと心引き締まる思いで受け取りました。令和5年度の反省と令和6年度の教育課程の編成方針を下記のように報告します。令和6年度も本校の教育活動に引き続きご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

保護者・地域の皆様方に信頼される学校となるよう、教職員一同心を合わせながら精一杯頑張っていく所存です。どうぞこれまで同様のお力添えをよろしくお願いいたします。このアンケートに関するデータにつきましては、今後、学校のホームページにも掲載いたしますのでご覧ください。

～本校ホームページ <https://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310198> ～

☆ 回収率

配布数	回収数	回収率
461	427	92.8%

1 社会に開かれた教育課程の実現

地域とともに子どもたちを育む教育活動を教育の柱にしています。その中でも「ふるさと教育」は、継続して活動を行っています。その成果として、令和5年度の全国学力状況調査では「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」は8.5ポイント、「日本や住んでいる地域のことについて、外国人にもっと知ってもらいたいと思う」は2.3ポイント、「自分にはよいところがあると思う」も5.5ポイント全国平均を上回る結果となりました。「ふるさと教育」は、地域の歴史や自然に対して愛する心を育て、自ら学ぶ意欲につながっています。自分から新たな一歩を踏み出し、実際に体験することで、自信や意欲を積み重ねていくことができます。ふるさと教育で子供たちは確実に育っています。一方で、その活動の様子を保護者に伝えきれていない現状がありました。

①学校は、地域の人材を積極的に活用した教育活動を行っている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
30	43	10	1	16
73		11		16

②学校は地域と一体となって子どもたちを育てている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
38	47	9	1	5
85		10		5

○体験活動の充実

- *「ふるさと教育」を一層活性化させ、米作りや里山、鶴見川などの地域環境を生かした地域体験活動を推進する。
- *アンサンブルカンタービレや町田フィルを招き、音楽に触れる機会を作り、豊かな情操を養う。

○地域人材の活用

- *キャリア教育では、地域の方で専門的な知識を持っている方をゲストティーチャーに招き、自分自身の将来について考える授業を行う。
- *幼稚園、保育園、鶴川第二小、鶴川第二中、近隣大学等との連携を一層深める。

③学校は、保護者や地域の方に対して情報発信している。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
36	48	12	2	3
84		14		3

④学校は、保護者会や学校公開、学校公開、学校行事などで、教育活動を公開している。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
56	37	5	1	2
94		7		2

○ホームページやTetoruの有効活用

- *ホームページの充実させ、学校の方針や児童の様子などを随時発信していく。
- *連絡方法の手段の一つとして、Tetoruの有効活用していく。
- *学校だよりの内容を見直し、保護者や地域にとって必要な情報を掲載する。
- *学校公開日と保護者会を同日にするなど、保護者が学校行事に参加しやすくなるよう日程を調整する。

2 確かな学力

令和5年度に行った東京都・全国の学力調査結果では、都・国の平均と比較して、平均または平均を下回る教科がありました。今後も児童が楽しいと感じながら、確かな学力を身につけ、意欲的に学習に取り組むための授業改善を進める必要があります。

○日々の授業の工夫

- *「導入・展開・まとめ」を基本とした授業展開を行う。
- *全学年において算数または国語での少人数指導・T T (2人体制) 指導を実施する。
- *繰り返しの学習、発展的な内容の学習、体験的学習、課題解決的な学習等を進め、基礎学力の定着を図る。
- *授業のねらいを明確化し、考えたり調べたりする時間の確保を進め、主体的な学びを実現する。
- *学習用タブレット等の情報機器を活用し、情報活用能力の伸長を図る
- *ノート指導を充実させるとともに、児童の考えを表現し、全体で共有する手立ての一つとして小型のホワイトボードや情報機器のアプリなどを活用する。

①お子様は、各教科の基礎的・基本的なことがらが身につけてきている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
31	51	14	3	2
82		17		2

○学び合いによる学習形態の確立

- *各教科等において、話し合い活動を重視し、論理的思考を育成する。
- *教員の発問の仕方を工夫し、児童の考えを深め、全体に広げていくような授業を行う。
- *話し合いの仕方、発表の仕方、資料の読み取り方について手だてを共有し、学年または学校全体で統一していく。
- *相手の考え方を受け止めながら話し合い活動を進める場「つながりタイム」を意識的に設定し、コミュニケーション能力の育成を図る。

②お子様は、宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
26	43	21	9	1
69		30		1

○家庭学習

- *宿題や家庭学習のやり方を工夫し、児童自身が自主的に取り組めるように働きかける。
- *学習用タブレットの学習アプリによる個に応じた課題を提示する。

③お子様は、学校ですすんで読書をしている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
17	22	27	21	14
39		48		14

○読書活動

- *読書週間や年間を通して行うチャレンジタイムでの15分間の朝読書の取組を通して読書力や言葉の力を培う。
- *学校図書館・学級文庫の充実を図るとともに、いつも手元に本がある状態にするなど、読書環境を整える。
- *外部講師による読み聞かせや保護者によるボランティア活動である読み聞かせを継続する。

⑤お子様は、ICT（学習機器）を積極的に活用している。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
29	34	20	7	10
63		27		10

○ICT（学習用タブレット）の活用

- *意見の共有や比較分類などに学習用アプリを効果的に活用する。
- *算数や理科では、プログラミングの授業を行い、課題解決の力を養う。

○国際理解

- *ALTと共同しながら授業をすすめ、実際のコミュニケーションの目的や場面、状況を意識した言語活動の充実を図る。
- *5年生ではスノーピーミュージアムでの校外学習、6年生ではイングリッシュフェスタを実施し、体験活動から学ぶ機会を作る。
- *学校2020レガシーを通して、多様な文化や言語の国際社会で、世界の人々と共生する意識を育成する。
- *外国の文化や自国の伝統触れ、多様な人との交流を深める。

④お子様は、英語学習に楽しく取り組んでいる。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
21	31	20	10	18
52		30		18

3 豊かな心の涵養（心の教育及び生活指導）

学校の決まりや家庭での決まりを守っている子が8割という結果になりました。学校だけでなく、家庭や地域があたたかく見守り、愛情をかけ、丁寧に育てていることが伝わります。いじめ防止や体罰防止については、肯定的評価が6割、わからないと回答した方が2割を超えました。学校での取組を家庭とも連携して進めていく必要性を感じました。

①学校は、いじめ防止や体罰防止に取り組み、子供の人権を大切にしている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
21	39	13	3	23
60		16		23

②お子様は、学校の決まりや家庭での決まりを守っている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
28	53	12	5	1
81		17		1

○いじめ防止

- *いじめに関する授業を実施し、行動の良し悪しだけでなく、いじめを許さない強い意志をもった子どもを育てていく。
- *いじめ防止基本方針をホームページに掲載し、周知を図る。
- *心のアンケートを実施し、未然防止、早期発見、早期対応に努める。
- *いじめ防止に関する校内研修を年3回行い、教員のいじめに関する意識を高める。

○人権尊重する児童の育成

- *特色ある教育活動である生命の大切さや人を思いやる児童の育成のために特色ある教育活動である「ふるさと教育」の指導を充実させる。
- *異学年交流である縦割り班活動を計画的に行い、子どもたちの「かかわり」を大切にしながら様々な教育活動を継続する。
- *道徳では、道徳判断力を養い、生活の中で実践できるよう授業の工夫を行う。また、道徳地区公開講座には地域や保護者、学校と一緒に道徳について話し合う場を設定する。
- *SNS 学校ルールに見直しや改善を行い、家庭と連携して指導を行っていく。

③お子様は、あいさつをきちんとしている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
31	46	15	5	3
77		20		3

○児童のあいさつへの意欲を高める組織的・継続的な指導

- *各クラス1週間ずつあいさつ運動を実施し、あいさつを積極的に行う児童を増やす。
- *地域の登下校見守りや子ども会と連携し、校外でのあいさつ習慣を定着させる。

④お子様は、交通事故防止や不審者対応などの安全意識が身についている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
26	56	14	2	2
82		16		2

⑤お子様は、ICT（学習機器）、スマートフォンなどによるネットマナーが身についている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
11	41	27	10	11
52		37		11

4 健やかな体の育成

体力調査には、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」等、様々な種目があります。どの学年も平均を下回る種目がありました。児童が授業や日常生活の中で楽しみながら体力向上を図ることのできる教材教具を開発したり、体を動かすことへの意欲を高めるはたらきかけを工夫したりするなど、一層の改善を図っていく必要があります。

①お子様は、日常的に、運動やスポーツ（遊びや部活動を含む）に積極的に取り組んでいる。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
37	31	20	10	1
68		30		1

②お子様は、食に対する知識や望ましい食習慣、生活習慣が身についている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
25	46	22	4	4
71		26		4

○楽しみながら体力向上をめざすことのできる取り組み

- *休み時間の外遊びを奨励し、日常的な体力の向上を図る。
- *縄跳び「なわとびタイム」やマラソン「みわっこかけ足」のカード等を作成・活用し、児童の運動への意欲を喚起する。
- *長縄跳びやチームゲーム等を体育の授業や全校朝会に位置付け、楽しさの中で記録更新の達成感を味わわせる。

5 中学との連携

①学校は、鶴二小（鶴二中）と連携して教育活動に取り組んでいる。（％）

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
9	20	14	6	51
29		20		51

学校からの情報提供について、以下のように工夫・改善を推進し、保護者や地域が求めている情報を的確に提供していきます。
 ＊教員による中学校での授業参観、中学生による職場体験などを実施する。
 ＊中学生による学校紹介などを計画し、進学への不安を減らすようにする。

6 校内環境

⑤学校は、校内整備や校内美化に取り組んでいる。（％）

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
29	46	11	3	11
75		14		11

施設の安全確保については、日々の点検の徹底、教育委員会との連携による点検・修繕を行っているところです。家庭と地域とも連携をとり、児童の安心・安全の確保のために一層の改善をしていきます。
 ＊中規模改築が来年から始まります。校舎壁面の整備、屋上の防水工事などを行います。

7 保護者の方からのご意見から

○学芸会が2年に1回になったことが非常に残念です。毎年楽しみにしていました。
 ＊来年度は、全学年で学芸会（劇等）を実施します。再来年度は、全児童の作品を体育館に一斉に展示する展覧会を計画しています。全児童が一つのことを一緒に共有するすばらしさを体験してほしいです。

○来月の予定や献立など知りたい情報が遅い。
 ＊今までは月末に出していた学校だよりですが、5月号から前月の20日ごろに発行します。献立表は、食材やアレルギーの調整のため月末になる予定です。

○個人面談が2学期以降にもほしい。
 ＊来年度から2学期制を導入していきます。長期休業前の7月と12月に個人面談を実施し、学校と家庭と一層連携して育てていくための話し合いを実施します。

○学校だよりから「下校時刻と時程」の記載がなくなり、学年だよりとの相違の確認が取れなくなり、帰宅時間の想定に不安があります。
 ＊4月から学年だよりをなくし、学校だよりですべての情報をお伝えしていくことにします。ホームページには、安全管理上下校時刻にかかわる情報は掲載できませんが、Tetoruで保護者には配信していきます。

○個人面談の具体的な日程が7月に入らないとわからないのに悩まされてきました。
 ＊お仕事やご予定などがあることを考慮し、できるだけ早くお知らせするようにしていきます。

○ケガをした時、その日に先生から連絡がほしい。4月から2回ほど、こちらが言わないと連絡がいただけなかった。
 ＊学校でのケガについては、保護者にお知らせしたほうがよいと判断した場合、下校までに保護者に学校から連絡をするように徹底していきます。特に、首から上のけがについては、慎重に対応します。

○少し気になるところは、子供たちの言葉づかいや口調です。行事に参加した際に、きつい言い方をする子が多と感じました。
 ＊相手を思いやる言葉づかいをするよう指導していきます。また、各ご家庭でも相手を思いやる言葉遣いについて話し合う機会を持っていただくとより効果があると思われます。

○保護者会を土日にしてほしい。
 ＊土曜授業日として年2回を予定しています。どちらも学校公開を設定しています。そのうち1回は、町田フィルに来ていただき、校歌と一緒に歌うイベントがあります。保護者会を行うには、時間的に確保できないという現実があります。来校していただく日を工夫するなどしていきます。

○町田市の教育等に関して情報共有をもっとすべきだと思う。
 ＊学校だより、ホームページなどで情報を発信していきます。

○このアンケートが任意ではなく必須なのは何故でしょうか？
 ＊ご意見をたくさんいただけることで、次年度の学校づくりにつながっていきます。兄弟姉妹がいらっしやると、同じアンケートに何度も答えなくてはならないというご意見もありました。検討していきます。